

施策評価シート (令和3 年度の振り返り、総括)

作成日 令和4 年 06月 20日

施策 No.	19	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8135
関係課名	秘書広報課、農政課、文化課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市内に訪れる観光客						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
本市観光客入込数	人	1,784,577	1,579,223				3,050,000

施策の目標	本市の魅力が十分発信され、市外から多くの人々が訪れ、賑わいと活力であふれている。
-------	--

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	観光客入込数は、県調査によるデータ (毎年1月～12月の集計)。撮影に関する問合せ件数は、もおかフィルムコミッションへの問合せ。
-----------------------------	--

成果指標名	単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
本市観光客入込数	目標値	2,960,527	2,970,000	2,990,000	3,010,000	3,030,000	3,050,000	3,050,000
	実績値		1,784,577	1,579,223				
撮影に関する問合せ件数	目標値	44	46	47	48	49	50	50
	実績値		46	65				
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、担い手として観光まちづくりの活動を推進する。行政は、観光まちづくりの担い手である市民の育成と、その活動を支援する。県や近隣市町と情報交換等連携を図り、広域的な観光の振興に努める。メディアを有効的に活用し、知名度向上に努める。
-------------------------	--

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

・令和3年の本市観光客入込数は、目標2,990,000人に対し、1,579,223人であった。これまで平成28年から平成30年にかけては290万人を越えて推移し、令和元年は3,177,751人になったものの、令和2年は1,784,577人と大幅に減少しており、これは新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している夏祭り・花火大会、灯ろう流し、桜祭り、大産業祭など集客の多いイベントのほとんどが中止となったことや、緊急事態宣言に伴う不要不急の外出自粛が影響し、多くの観光施設では来館者が大幅に減少したことが要因である。令和3年度も同様にコロナ禍の影響を受け、入込数は前年比の88.5%とさらに減少しており、市外から多くの観光客が訪れ、入込数が従前の数値に戻るためには、コロナ禍の収束が必要になると考えられる。

・フィルムコミッションへ撮影に関する令和3年度の間合せについては、目標47件に対して65件の間合せがあり、前年度46件から伸びがあることは、コロナ禍の中にあっても、ロケによる撮影が少しずつ回復している中で都心から近い地域が選択されていることや、金鈴荘、久保講堂、鬼怒川河川敷など中心に撮影地として一定の関心と認知がされているものと考えられる。

(2) 今後の方向性 ((1)の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

・引き続き市ホームページやSNSで積極的な情報発信をおこなうとともに、最新の情報へ更新した新たな観光パンフレットを作成し、本市のPR強化と観光の振興を図っていく。また、本市の特産品であり生産量全国一を誇る「いちご」を活用し、さらに真岡鐵道沿線市町と広域的な連携を図りながら、アフターコロナに向けて観光客の誘客を推進する。

・フィルムコミッションによる観光施設と文化施設の情報発信として、新たに製作したロケ地マップの活用と市内のロケーションを積極的にPRすることで、市内観光とリンクした誘客を推進し、また、映画・テレビ・CMなどに利用できるロケーション撮影を積極的に誘致して、本市の魅力発信やイメージアップを推進する。

